

きらめきプラン
佐用町災害復興計画

きずな
絆 ~きらめくために、がんばろう佐用~
からはじまるふるさとの**復興**



佐用町

災害復興計画策定の趣旨

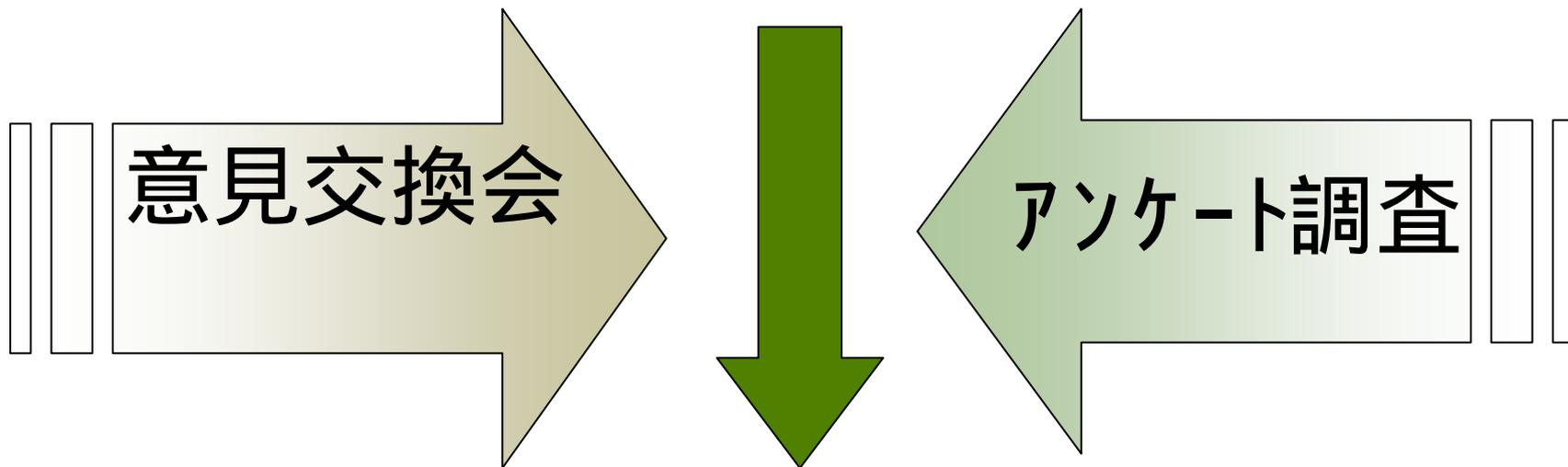
趣旨

- 平成21年8月に発生した台風第9号による豪雨は、人的被害を始め、まちに甚大な被害をもたらし、想像を絶する未曾有の大惨事となった。
- 災害により甚大な被害を受けると、まちは加速度的に衰退してしまうことがある。こうした事態にならないために、一日も早くまちを復旧して住民が元の暮らしを取り戻すこと、また、同じような被害が起こらないよう安全であんしんなまちを創っていくことが不可欠。さらに、この災害を契機に21世紀の新しいまちとして佐用町が再びきらめくことが重要。
- これまで佐用町が進めてきた「協働のまちづくり」に、まちの豊かな自然・文化・伝統などを活用し、これまで以上に地域と連携・協働しながら「みんなで創る(共創)新しい佐用」のまちづくりを進めていく。

策定方針

- ・ 災害は、各地域の住民のかたがたが、地域の**防災や災害に強いまちづくり**を考えるきっかけとなった。災害復興計画の基本方針や目標を設定し計画をつくるため、**地域の特性や意向**、また**復興に対する地域の思い**を十分に**反映**する。
- ・ **地域づくり協議会(全13地域)**ごとに**意見交換会**を実施するほか、**地域住民へのアンケート調査**を行い、**地域のみなさんの意向**を十分に伺って、これらを計画に**反映**させる。

みんなで創る新しい佐用



佐用町災害復興計画

谷川・奥山の崩壊対策
林業施策の新たな展開
孤立化対策
停電時の情報伝達手段の整備
避難所の物資の備蓄
自然環境の再生による地域興し

【平福地域】
土砂災害危険区域の対策
休耕田の有効利用
更地の住宅利用
助け合いの精神のさらなる向上
防災行政無線のさらなる活用
身近で安全な場所への避難
産業の活性化を柱とした復興
一人暮らしのお年寄りの対応

【江川地域】
谷川の改修
緊急連絡体制の構築
緊急時の情報伝達体制の確立
緊急警報システムの整備

【佐用地域】
低地箇所の冠水対策
保水力を高める森林の管理
普段からのコミュニティ活動
防災行政無線の屋外対応
集落と役場の連絡体制
商店街復興イベントの継続

【幕山地域】
復興よりもまず復旧を優先
ため池対策
地域ごとのハザードマップ作成
災害対策本部機能のバックアップ
民間家屋も避難所として活用
ボランティアとの交流の継続

【上月地域】
河川断面不足の解消
ため池対策
住宅再建困難者への対応
危険な状況を予測
地域で河川水位を入手する仕組み
集落の避難所の検討

【久崎地域】
災害箇所の早期対応
営農支援の早期対応
消防団による的確な避難誘導
トランシーバーの有効性
街路灯の有効性
国の支援金の期間延長

【徳久地域】
町道の通行不能箇所の解消
ため池対策
空き家の被災者住宅への活用
消防団再編の検討
高速道路通行規制の情報連絡体制
避難支援の街路灯設置

【中安地域】
井堰の撤去
昔の自然林に戻す運動
自主防災組織のあり方
高速道路通行規制の情報連絡体制
地域の防災マップの作成・配布

【三日月地域】
砂防ダムの維持管理
地域主体の安全対策
集落の中の情報伝達システム
行政は地域の防災をフォロー
被災集落の不安解消

【長谷地域】
主要道路の通行確保
農業等の産業活性化
要援護者対応
停電時の情報伝達手段の整備
防災計画の充実
生活再建の不安解消

【三河地域】
大規模河川改修の要望
地域防災の的確な実施
避難判断のための情報提供
危険箇所の把握

【海内地域】
河川の土砂撤去と護岸改修
鹿などによる山林荒廃の対策
地域での自主防災力の向上
携帯電話不感地域の解消
複数避難路の確保
鮎の放流イベント

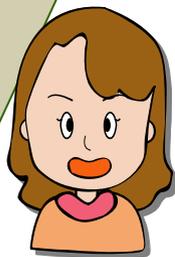
地域の意向

3地域の意見交換会

(1)生活基盤の再生に関する事項

【生活基盤等の復旧・復興】

- ・河川改修
- ・谷川、裏山の崩壊対策
- ・砂防ダムの維持管理
- ・主要道路の通行確保



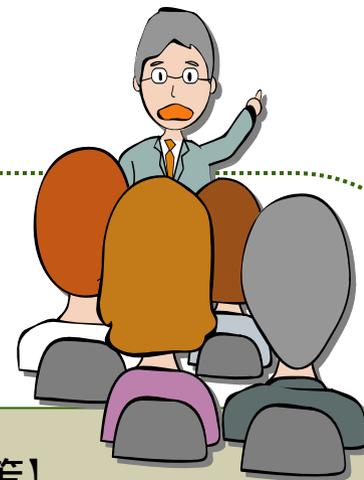
【農林業等の再生】

- ・保水力を高める森林づくり
- ・山林荒廃対策
- ・ため池対策
- ・林業施業の新たな展開
- ・昔の自然林に戻す運動



【住宅対策】

- ・更地を住宅地として利用
- ・住宅再建困難者への対応
- ・空き家の被災者住宅への活用



(2)災害に強い町づくりに関する事項

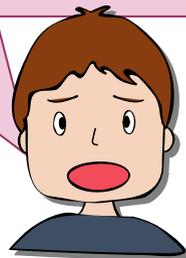
【地域防災力の強化】

- ・地域の自主防災力の向上
- ・地域ごとの防災計画やハザードマップの作成
- ・日ごろのコミュニティの重要性



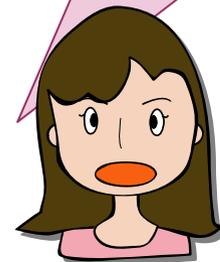
【情報伝達手段・体制】

- ・防災行政無線のさらなる活用
- ・携帯電話不感地域の解消
- ・多様な情報伝達手段の確保
- ・気象、水位情報の提供



【迅速・確実な避難】

- ・集落単位の避難場所の検討
- ・避難方法の検討
- ・夜間避難への備え



(3)地域の活力向上に関する事項

【地域活力の向上】

- ・商店街の再生
- ・自然環境の再生による地域興し
- ・ボランティアとの交流の継続



【地域ケア】

- ・高齢者世帯や単身高齢者への配慮
- ・被災集落の不安解消



アンケート調査より

(1) 生活基盤の再生に関する事項

河川整備を優先
土砂災害防止などの安全対策
山の管理や被災農地の復旧支援
被災者の生活相談や住宅の支援
など



生活基盤の再生

<ハード>

- ・治水、治山等の整備による安全であんしんして暮らせるまちの基盤づくり
- ・農林業の基盤整備
- ・住まいの再建支援

<ソフト>

- ・生活の再建支援
- ・居住支援

(2) 災害に強いまちづくりに関する事項

避難時の隣近所との声かけ・助け合い
各家庭での避難方法等の確認
防災意識の啓発や自主防災組織の育成
危険を知らせる情報の提供・入手方法
防災行政無線による情報伝達手段の改善
各地域での避難体制の整備や防災訓練の実施 など



災害に強いまちづくり

- ・コミュニティの強化
- ・継続的な防災意識の啓発・高揚
- ・多様な情報伝達手段の確保
- ・地域に適した防災体制の整備・充実

(3) 地域の活力向上に関する事項

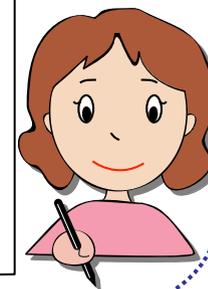
にぎわいの拠点となる商業機能の充実

地域特性を活かした元気な佐用のPR

水害を忘れず、安全・あんしんして暮らせるまちの実現

ボランティアとの継続的なつながりの維持

心のケアや被災者の健康相談などの地域ケアの充実 など



地域の活力向上

- ・ 商店街の活力向上
- ・ 地域のにぎわい・交流の創出
- ・ 地域の元気づくり推進
- ・ ボランティアと連携した地域活力の向上

基本方針と目標

災害前からの地域の課題

少子高齢化、人口の減少、山の荒廃、各商業地の衰退等

平成21年台風第9号災害

みんなで創る新しい佐用

意見交換会

1. 生活基盤の再生に関する事項

・河川改修、谷川の荒廃・裏山の崩壊対策等

・山林荒廃対策、ため池対策等
・住宅再建困難者の支援等

2. 災害に強いまちづくりに関する事項

・地域ごとの防災計画・マップの作成等
・多様な情報伝達手段の確保等
・集落単位の避難場所・方法の検討

3. 地域の活力向上に関する事項

・商店街の再生
・ボランティアの育成・交流
・高齢者等への心のケア等

アンケート調査

1. 生活基盤の再生に関する事項

・安全であんしんなまちの基盤づくり
・農林業の基盤整備
・生活の再建支援

2. 災害に強いまちづくりに関する事項

・コミュニティの強化
・多様な情報伝達手段の確保等
・地域に適した防災体制の整備・強化

3. 地域の活力向上に関する事項

・商店街の活力向上
・地域のにぎわい・交流の創出
・ボランティアとの交流による活力向上

基本方針

絆からはじまるふるさとの復興
～きらめくために、がんばろう佐用～

計画の目標

目標1：生活基盤の再生

～安全であんしんして暮らせるふるさと～

治水・治山等の整備による安全性の確保とともに農林業の基盤整備も推進します。
また、住まいの再建・整備を支援します。

目標2：災害に強いまちづくり

～地域の絆で高める防災力～

コミュニティを強化し、地域の防災力向上を図るとともに、多様な情報伝達手段を確保するなど災害に強いまちを目指します。



目標3：地域の活力向上

～地域がきらめくにぎわい創出～

商店街の活性化やボランティアとの交流などにより、にぎわいを創出し、地域活力の向上を図ります。



計画の期間

	平成 21年度	平成 22年度	平成 23年度	平成 24年度	平成 25年度	平成 26年度	平成 27年度	平成 28年度
佐用町災害復興計画		復旧期		発展期		飛躍期		
		フォローアップ						
佐用町総合計画	基本構想（平成19年度～28年度）							
	前期基本計画 （平成19年度～23年度）			後期基本計画 （平成24年度～28年度）				
佐用町地域防災計画	見直し							
< 参考 >								
佐用川などの河川整備計画	緊急河道対策事業等							

復興の施策体系

<基本方針>

絆から絆はじまるふるわりの復興

〜きらめくために、がんばろう！佐用〜

<目 標>

目標1：
生活基盤の再生
～安全であんしんして暮らせる故郷～

目標2：
災害に強いまちづくり
～地域の絆で高める防災力～

目標3：
地域の活力向上
～地域がきらめくにぎわい創出～

<施策体系>

1．治水・治山などの基盤整備

2．農林業の基盤整備

3．住まいの再建

1．コミュニティの強化

2．多様な情報伝達手段の確立

3．防災力を高める計画づくり

1．商店街などの活力向上

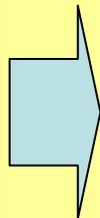
2．地域のにぎわい・交流の創出

3．健康のまちづくりの推進

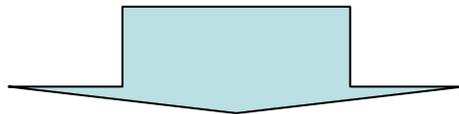
4．ボランティアとの交流による活力向上

災害復興フォローアップ委員会

災害復興の状況及
び課題の分析



復興施策を推進



佐用町災害復興計画に基づき、災害に
強く町民が安心して暮らせるまち